



ファミサポ通信

第9号
発行 2020.3

子育て世代の家庭形態が変容し、核家族が増え、就労・学業と子育て・家事の両立は増々大変なことになっています。ファミリーサポートでは、それぞれの家庭の状況に合った、既存の保育所では対応できない変則的な保育ニーズに対応することができます。お子さまを人に預けることへの不安から、なかなかその一歩が踏み出せない方もいらっしゃると思いますが、ご家族にとって身近に知り合いができるということは、安心・安全な生活に繋がっていきます。お子さまにとっても、親以外の大人に接する良い機会になります。利用することに理由は問いませんので、ぜひファミリーサポートの利用の機会を作っていただければと思います。



東京医科歯科大学の 依頼会員Hさんご夫妻に



双子の子育て支援のご感想をいただきました

現在、9ヶ月の双子を育てています。夫も私も福岡県出身ということもあり、近くに子育てを頼れる親戚や知り合いはいません。ただでさえ大変なのですが、夫が出張などで不在の時はさらに大変で、一人で双子のお風呂はとてもではないですが無理でした。そこで、里帰りから東京に戻ったあと、DDユニットファミリーサポートの援助を受けるようになりました。



お風呂あがりのミルク、
美味しいね。

現在は一人の提供会員さんで、月に4～5回程度利用しています。

主に入浴介助、ミルク、離乳食の食事介助を手伝っていただいています。事前打合せで、提供会員さんに初めてお会いした時に、子どもたちが笑顔だったので安心してお願いすることができました。入浴ではぐずることも多いのですが、サポートしていただくことで、私も子どもたちも非常に助かっています。そして私自身、提供会員さんとの何気ない会話は、よい気分転換になっています。

双子の育児は子どもたちに目を配らなければならず、また私自身の心理的な余裕もなく本当に大変です。私たち家族にとって、このような支援を受けることができるのは、本当にありがたいことです。東京で子育てできるのは、DDユニットファミリーサポートのスタッフをはじめ、提供会員さんのおかげです。今後も、子どもたちの成長を共にサポートしていただければ幸いです。

(依頼会員Hさんご夫妻・Mくん・Hくん)

お母さまと提供会員さんにそれぞれに支えられ、カメフをじーっと見つめるMくん・Hくん。初めて会った時より、とても大きく成長しました。



それぞれチェアに座って2人で一緒にいただきます。残さず、完食です！

第9期保育サービス講習会

30.5時間、7日間にわたる講習会を開催いたしました。発達や病気・救命講習など、多岐にわたって学びました。講師の先生方、ご講義ありがとうございました。



東京医科歯科大学
小児科・講師
滝敦子氏



東京医科歯科大学
小児・発達看護学助教
矢郷哲志氏



東京医科歯科大学
小児・発達看護学准教授
岡光基子氏



管理栄養士
吉田朋子氏



言語聴覚士・
精神保健福祉士
湯汲英史氏



保育士
小俣みどり氏



劇団風の子
大森靖枝氏



本郷消防署
救急救命士
有賀氏・小林氏

提供会員に登録するためには、1年に2回東京医科歯科大学内で開催している「保育サービス講習会」の

全ての講義を受講する必要があります。今回の講習会では、新しく5名の受講生が提供会員として登録されました。講習中は、熱心に受講していただき、ありがとうございました。今後の活動に活かしていただきたいと思います。



全体交流会を 開催しました！



今年度の全体交流会はハーバリウム講師の齋藤真由美氏をお招きし、「ハーバリウム作り」を開催いたしました。日頃、なかなか自分で作ることでできないハーバリウムを、自分好みに制作できる、貴重な機会となりました。

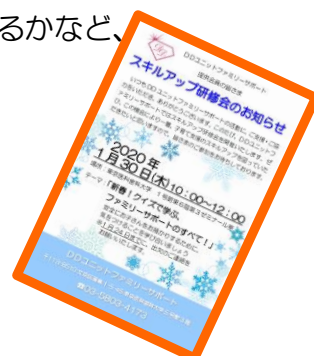
依頼会員の方は、親子でご参加いただき、どの花材を入れるか楽しそうに相談し、小さいお子さんも自分の気に入った花材を選び、嬉しそうに瓶の中に入れていました。提供会員・依頼会員の皆さまが、一緒にハーバリウムを制作しながら楽しく交流する場となりました。ご参加いただいた会員の皆さま、ありがとうございました。



スキルアップ研修会を 開催しました！

初めてクイズ形式で学ぶ、スキルアップ研修会を開催いたしました。自己紹介では、日頃取り組まれている運動をそれぞれ紹介していただきました。体操やヨガ・水泳などをされている方が多く、皆さん健康意識が高く驚きました。クイズ問題では、○か×の2択で答えていただき、どうして選択したのか、また実際の活動時はどうしているかなど、解説を聞きながら学びました。

この機会にもう一度、「活動の手引き」を細かいところまで読み直し、今後の活動に活かしていただきたいと思います。



クイズに答える提供会員の皆さん。教室の半分で○か×に分かれます。答えに迷ってしまう、引っ掛け問題にも正解していました！

事故を未然に防ぐ！ ヒヤリ・ハットレポート



ヒヤリ・ハット！

事前打合せ時にお渡ししているヒヤリ・ハットレポートを活用して、未然に事故を防ぎたいと考えています。

ヒヤリ・ハットとは、重大な災害や事故には至らないものの、直結してもおかしくない一歩手前の事例の認知をいいます。ヒヤリ・ハットの事例を収集・分析し、重大事故を予防することは大切です。各個人が経験したヒヤリ・ハットの情報をあえて公開し、蓄積または共有することによって、重大事故の発生を未然に防止することができます。

1件の重大なトラブル・災害の裏には、29件の軽微なミス、そして300件のヒヤリ・ハットがあるとされています。

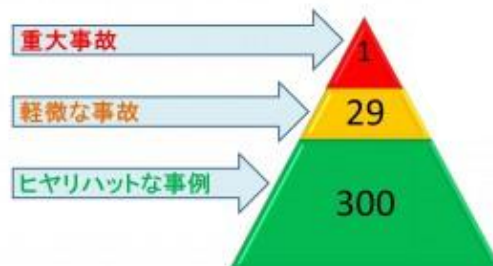
(ハインリッヒの法則を参照)

もし活動中にヒヤリ・ハットすることがありましたら、報告書と一緒にヒヤリ・ハットレポートのご提出をお願いいたします。また、迷った時には事務所にご連絡ください。ご協力、お願いいたします。

●こんな内容で構いません！

- 例)・保育園のお迎えを依頼され、お迎えした時に先生から聞いた保護者の方への伝言を伝え忘れ、翌日に気づいた。→保育園から事前に保護者の方へお手紙が渡っていたので、大事に至らなかった。
- ・事前打合せの待ち合せ時間に遅れてしまった。→依頼会員には遅れることを伝え、急いでタクシーで移動した。

ハインリッヒの法則(1:29:300)



病児保育の 土曜日利用開始！

2020年4月、「活動の手引き」の改定に伴い、利用可能な対象を「大学院生→学生」に変更いたします。また病児・病後児保育が、土曜日にも利用可能になります。事前に医療機関で受診し、「病児・病後児保育利用意見書」をご用意ください。

編集後記

新年度に向け新しい環境に対応するため、自分に必要な子育て支援を模索する方も多いかと思います。子育て支援は、保育園終了後・学童終了後の送迎・お預かり、病児・病後児のお預かり、塾の送迎等、多岐にわたっています。DDユニットファミリーサポートでは、いろいろな子育て情報が発信できるように努めてまいりますので、今後も活動へのご理解・ご協力、どうぞよろしくお願いいたします。 水上真理・山口千代子

DDユニットファミリーサポート

【受託】NPO法人子育てネットワーク・ピッコロ

〒113-8510 文京区湯島 1-5-45 東京医科歯科大学 学生支援・保健管理機構 DDユニット事業推進室

■TEL: 03-5803-4173 ■FAX: 03-5803-0412 ■e-mail: family-support.ddu@tmd.ac.jp

■URL: http://www.tmd.ac.jp/cmnddu/project/family_support.html